繪入

一休骸骨

全

特別
八5
3711

ハ5
3711

前川藏書

一休髑髏

うすどくとくたまづさ乃うちゆきて方法
ゝもとゝなんあるうすべし・それをよもんん乃時
ゆゝ稼とりみだくすりろく國
ちゆゝむまれくるものてゝひむかりをうゝを
といふるすゝをまきわづまもいまざちちう天
地出去れん来乃めんゝくゝをいまざうるをみる
ちゝとこくゝるを来くるなるがうちうれゆへ
ゝすかうちゝを我れ仏とハいふなる仏んを
ゝれゝとも清ゝくゝさ仏祖とも神ゝとゝろ
くゝのゝんゝみゝもちるゝをうまづるうう
うゝをゝくゝをんいるゝちゝち地ごく

前川藏

〈99-1022〉

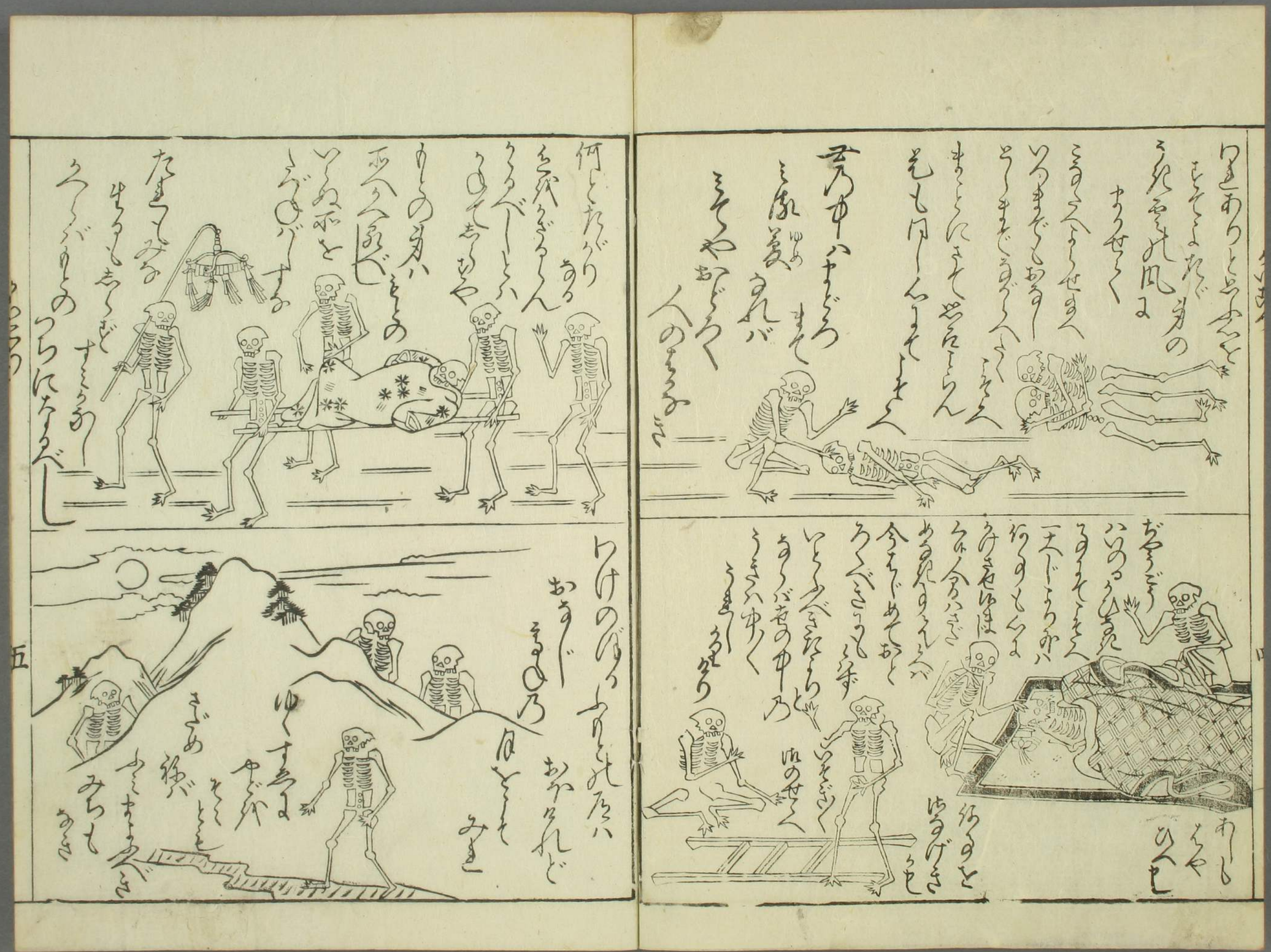
まことに気なるもぎさまの人乃ちあめのあら
てこてびとうばはめでぎくしてしれと
うまこうこうきもこうこうとおてん三界ハいよ
くこのうくふぎてこうとわにまを
てうこいでづくとはとくもたくゆくなく
おこうこぬ野ぎてよいうこうそでもこうる
姫こちこゆぎこてなこぬこでこ
こうこうこうこ林乃こ海こうむこぬこよ
こもこれこまこおこここと乃こまこを
びこうここおこうこひこうこうこ山ここう
くこうこまこびこうこうこあこくこそこうこたそ
のうどあここめ中にこのかこうこあ

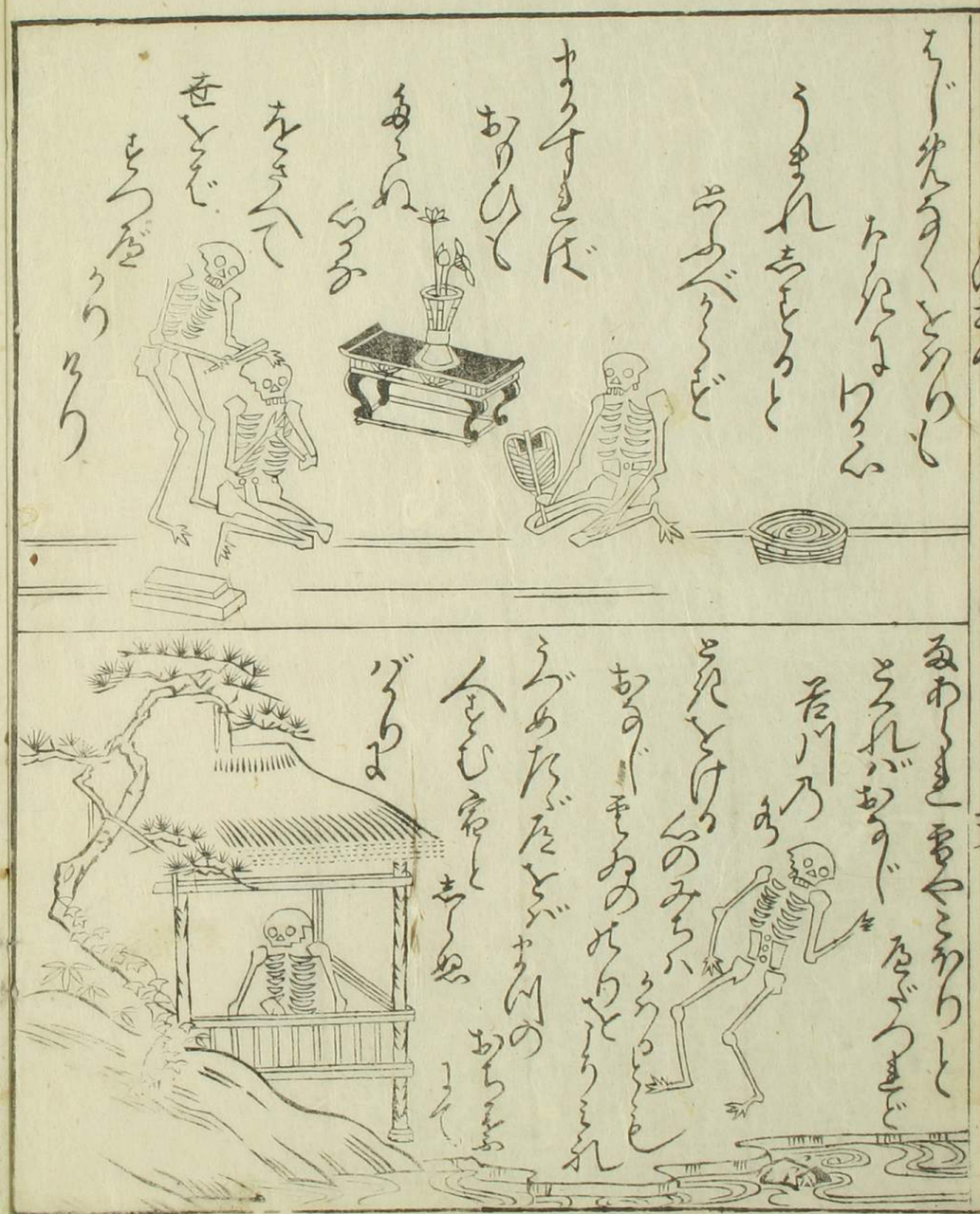
まれなるぎひこうこ月ぎ乃こうこ海こうこ
ちいでこいこく
世乃中にあこ風たちぬ気すき
まひうばゆん野べも山べも
いうふせん分とすこぞめれ紙ぎん
むのくこをぎこ人ぎこちを
一切乃ここの初ここびむこうこびこ
幸あこべこどせあここ海こうんぎん
乃ここ人こ海ここ海こうこうこうこ
世ここ海ここ家初ん
みみ海ここれあこびこれめ十余年れせ門
こうこもこる海ここ海こうこれあこびこ人ぎこ海こ海ここ

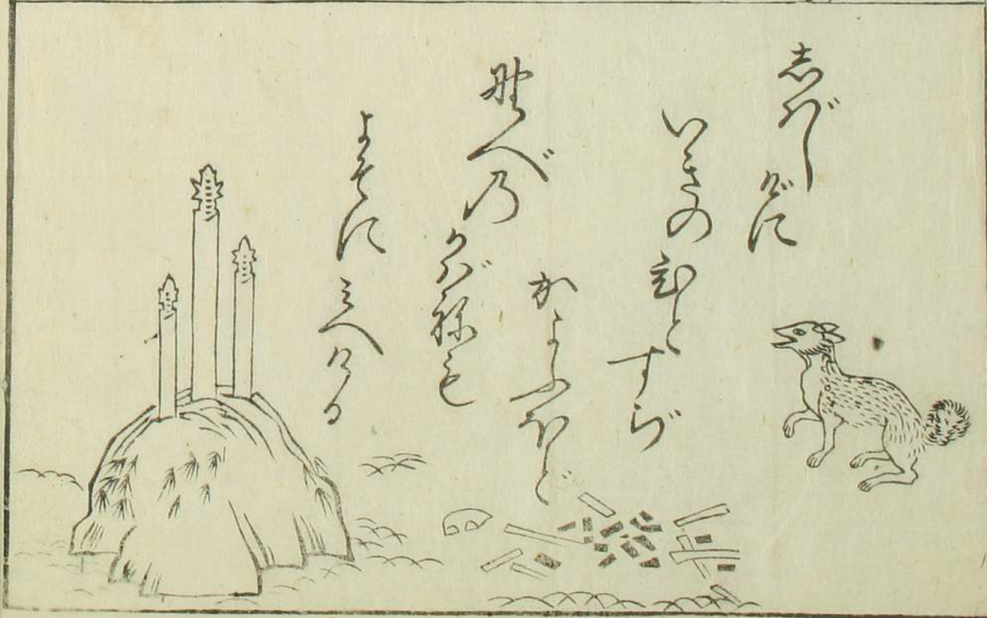
らんゆへすらうゑもしけれども成あれ人やあるこ
て紙をとりてこれをとりふれば
称ともあるもあるがそくしてこれをぬるもの
なるうをけるあつまるぎぐうたるあるて海
どうこそまれ美れうろへ豊れうろへ豊
ゆがまたぐいうりおほくむまみくるのあれ
まひとのくおすうこうびゑぐ世ふあるへの
どうこあるあるへぎ乃るゆやくうひくるる
かどうあるぐいうりちくあるこうていまく
とひ出乃あるあるこあびをびもも
夢ともたなれわびきるあるゆや
紙法を移やはゆるみよりうるハ

海とのみられいるぐいはぐれ
ちどうぐふいれ乃ちどうふはと
野へ乃ぐひもこれるるる
はくちこうみうてなまあそぶるふはぐ
わま人乃ぐそれはうせそこうも
つ移よあひもたるひるぐいあり世とて
海ずすひるふあるくはるれるうと
ぐひあそれうは蝶るれよいるくけぐふ乃
みのうずあるくひれ車よそはるもの
ハまり風乃とまあこにえぐはるのハ
けい月の海くよ乃るれそもくいぐ
乃ちれうゆれうちはのうぐうづを乃人

空
風
火
水
地







世乃中ハ
ものあさてなるべしとふとも
あらしもう風のあるへすれ事ハ
そはゞ稲くもとどくくのたる
はゞくとひくわゞ身ハ
ゆあるへ十さんれるふこ
つくく新代いでゆ
ちるよ入しゞいまはそ
まびたくどたちしさ
乃くくひぐくうとあ
しるこはゞきとうぐ
たくあるもとくまを
あらもはくくたゞ

けすべしけさあらをハきらうとも
あ[illegible]をハきたなくなるまゝ者とし[illegible]
けさふろうの乃ちものくとまるまゝ者と
うちふいなひとまゝ
やぐうちんを乃いとれとみあるべものく
いろちとあろてふちぐまいうとの代
おしまてふぐまとならぐものの代ちうず
ていちくしくとうまうだちとそてを
ちやうだるまりぶ戒とたのらてハ人ま
むまれたせんとしくてハ人まむ
まをはうへまに動ありあまぶくうへ十う
いくいおこの一念代乃ぶんうちをちう

ちうろんを住ふたなくくまくひをうべきを
もあるくだぐくのの雲乃ごくあるのくへ
乃あくれわやうだるぐとうを而の移んを
なれがゆへまをとを而乃方法もなく念
法をもうりてむのきたるくへ
乃姫しんをきぬまうあくへハ人へ乃ちち
をハ火うちのごくうハちぶハくを火ハ
ふたるをおまれかくくそだくあ
ぶくのちんはくふくくあるたるちち
きあひあをぶくれを火乃いづるごくちち
をもも下先まれぐゆをまつあハ火のき
ゆるふまうまるなくうをくくくくうら

一切ものとまごくそこ一切のいろとらくたこ
切乃いろとまあてばうんぶんの田地とハいふ
あらゆる一切美味國土乃いろハみなこくうる
いづれゆへよりのたまへるうんどんのでん
ちとハいふなり

ばくうあくぶれてうれんれをあり
れをふくぶ乃ちそをもらくあ
ちあくて雲のうへまそあるもの
ぐどんのうをたのこでとあ

曜墨又十余年れ
ハ乃ちれたる西ぶ
さのごとの乃ふ面ぶ

よいぶかたて一字もとうずといひくうぶ
てふづくれをとさあけこせあふと迦
葉うたうふうひくくどんのさまふ
面うわまたまきき法乃ものあ
つまそれをゆうとるといあいれそわ
ととひそれぶくどんの乃ふやまれ十余
年れぜ門乃うハたとハおさあいものといぶ
うんとぶとふれをの乃うらうものまこと
ひくいくうどくうぶ
ぜ門はうハこれうぜとたくぐこと
ひゆへまたまの乃んといふくどん今ぞう
ほたくへあひ所のおさあひとの

といふことをもとりあつめて
これ乃ち八男とりてあつてきたるべきなり
とぶらもあらばはふひくもきたるべきなり
はふ乃ち八男とりてあつてきたるべきなり
人といふことも世乃ち三世乃ちよぶの乃世者とハいふこと
乃ちこのまゝ乃ちよぶの乃世よりそ一ぶ
二十八組たるべきの方組ちとはきかん
ぶんの四ぶ乃ちまりてふものハなり一ぶ
乃ちのまゝ乃ちなれゆへ大といふこと
まりを一ぶ乃ち八しきといふことなり
まりの乃ち乃ちまりあきの乃ちまりの

てんまりまりとなりとうまりまりぶ
ハ土ハ水火風乃ちまりまりとんまりの
まりぶらさハうぶあるまりの
ぶりくちけのあるふまりぶ
ぶりまりまりふりちまりまりまりまりを
し乃ちなれゆへまりぶまりの
もなり

あ小事もみのりの世ありまり
ぶぬるといふもの海とまり行ぶ
みるくまりひ乃ちまりとハ男ハ乃ち口
たまりぬハまりぬハ大まりあやまりまり
はまりの人乃ちぶりあふ男もまりもひと

けいよ志ねんとしのあつまりて天地國土一切のわんぜん乃因縁よ
りうまれ一切法八万法とうちゝそゝ山一さんれみく
はんぜんべし・大宗系乃人よ法成りうへし
りうをゝゝも美乃らりうきりうる
はめくハさしれそうへ人をなり

康正三年四月八日　虚堂七世東海系大
徳寺一休子宗純　鐵橋通宮川町西側
大阪書林
元禄五壬申暦九月吉辰　土佐屋喜兵衛板

前川藏